

令和4(2022)年度入試関連行事 開催予定表

静岡学園の良さを感じるチャンスです。
皆さん、是非参加して、静岡学園を体感して下さい。

個別相談

随時承ります
詳しくはHPから

お問い合わせ、
エントリーは、
HPで。



区分	行事名	開催日程	開始時間	会場	
静岡学園中学校	体験会	第1回一日体験入学	7月31日(土)	9:00、11:00	本校
		第2回一日体験入学	8月28日(土)	9:00、11:00	本校
		陶芸体験及び英会話・文化部見学会	10月16日(土)	13:15	本校
	相談会(小6対象)	随時受付の個別相談	5月~12月の平日・一部土曜日		本校
		個別相談会	6月12日(土)	9:00	本校
			6月19日(土)	9:00	本校
		地区個別相談会	10月1日(金)	17:00	清水(清水テルサ)
			10月5日(火)	17:00	焼津(ウェルシップやいづ)
			10月6日(水)	17:00	島田(プラザおおるり)
			10月11日(月)	17:00	藤枝(藤枝駅前BiViキャン)
		入試個別相談会	10月13日(水)	17:00	富士(富士市交流プラザ)
			11月20日(土)	11:30	本校
12月4日(土)	9:00		本校		
12月11日(土)	9:00		本校		
個別相談会	12月18日(土)	9:00	本校		
	体験会	第1回一日体験入学	7月31日(土)	9:00、11:00、13:00、15:00	本校
		第2回一日体験入学	8月28日(土)	9:00、11:00、13:00	本校
第3回一日体験入学		10月16日(土)	13:00、15:00	本校	
静岡学園高等学校	入試説明会	11月20日(土)	10:00、14:00	本校	
		随時受付の個別相談	5月~12月の平日・一部土曜日	本校	
		地区個別相談会	10月1日(金)	17:00	清水(清水テルサ)
			10月5日(火)	17:00	焼津(ウェルシップやいづ)
	10月6日(水)		17:00	島田(プラザおおるり)	
	10月11日(月)		17:00	藤枝(藤枝駅前BiViキャン)	
	個別相談会	10月13日(水)	17:00	富士(富士市交流プラザ)	
		12月4日(土)	9:00	本校	
		12月11日(土)	9:00	本校	
12月18日(土)		9:00	本校		

令和3年度の年間行事予定

●中高共通 ●中学 ●高校

4月 ●始業式 ●入学式 ●遠足	9月 ●生徒総会 ●新体力テスト	2月 ●学年末試験
5月 ●PTA総会(役員会) ●中間試験 ●開校記念式典・講演 ●校内合同大学説明会(高校)	10月 ●中間試験 ●体育祭	3月 ●球技大会 ●保護者会 ●終業式 ●特別授業 ●中学課程修了式 ●高校卒業式 ●高2ニュージージーランド 優秀生徒派遣(高校)
6月 ●静学祭(文化祭) ●面接週間 ●生徒会役員選挙	11月 ●授業公開週間 ●芸術鑑賞 ●期末試験 ●中3修学旅行(中学) ●高2修学旅行(高校)	12月 ●保護者会 ●終業式 ●特別授業 ●中1広島平和学習(中学)
7月 ●期末試験 ●授業公開週間 ●保護者会 ●終業式 ●特別授業 ●JWACS語学研修 ●水泳教室(中学)	1月 ●始業式 ●中2自然体験教室(中学) ●芸術鑑賞/SPAC(中学) ●高3家庭研修(高校)	
8月 ●特別授業 ●始業式 ●静学グローバルコンピテンシー 集中講座(高校)		

「孝友」第233号(令和3年5月20日発行)
発行者 学校法人 新静岡学園 静岡学園中学校・高等学校校長 鈴木啓之
題字 渡邊貴彦(毎日書道展審査員)
印刷 株式会社サイラン 編集 孝友編集委員会
デザイン制作 株式会社アロマイメージ

孝友

人格という土台の上に
真の教養を創造したい者は
この門から入れ

233
令和3年<2021年> | 春号

つなぐみらいへ ~孝友発行に寄せて~

学校の図書館に「孝友」の第1号から最新232号までが保存されています。校誌沿革にあたる記事が載せられていることになり、それを見返せば、ある意味で学校の歴史を振り返ることになります。編集方針が必ずしも統一されている訳ではなく年間の発行回数やその掲載内容に変遷があるわけですが、その時代時代の静学の息吹を感じることができる貴重な資料となっています。

昨年、同窓会組織が刷新をし、橋本新同窓会長が就任して新たな1ページが始まりました。同窓生同士、在校生、学校を繋ぎ、現在・未来の静学をサポートするという大きな理想のもと、会の活動や名簿発行に現在力を注いでいます。今回の「孝友233号」は、その活動に関連付けて従来の在校生・保護者に加えて同窓生の方々にも送付し、現在の静学の様子、生徒や教職員の声を写真や文章で届けて学校の今を体感してもらおうと編集方針を立て、まとめた形となっています。紙面・記事から現在の静学を感じてもらいたいと思います。在校生・保護者の皆様は、我がこととして各ページを振り返り、同窓生そして未来の静学生は『静学の今を・・・そして未来を・・・』各ページから感じていただければ幸いです。



静岡学園中学校・高等学校
校長 鈴木 啓之

静岡学園中学校・高等学校 同窓会は、静岡学園の在校生と未来の新入生の皆様に応援しています。



目次	
在校生及び受験生に向けた校長挨拶	01
コロナ「禍」を超えて	02-03
中1~中3の1年間の活動記録	04-05
高1年部 高1年の1年間の活動の記録	06
高2年部 高2年の1年間の活動の記録	07
高3年部 合格体験記	08
進路の実績	09
部活動の実績	10
同窓会より	11
年間学校行事(予定)	12

特集 コロナ禍を超えて



コロナに対応した日々の記録

令和元年度

- 2月25日(火)～28日(金) 学年末試験
- 2月27日(木) 安倍首相(当時)、全国一斉休校を求める
- 3月2日(月) 学年末試験、答案返却日
- 3月3日(火) 保護者と共に、体育館にて卒業式
- 3月3日(火)～7日(土) 臨時休校
- 3月9日(月)～13日(金) 臨時休校を継続、主にプリントでの家庭学習を実施
- 3月16日(月) 高1年のみ、午前中登校
- 3月17日(火) 中学生のみ、午前中登校
- 3月18日(水) 高2年のみ、午前中登校
- 3月19日(木) 保護者会
- 3月21日(土) 終業式・離任式については、実施を取りやめる
- 3月23日(月)～27日(金) 特別補習は中止
- 3月中、部活動は中止、4月より再開

令和2年度

- 4月7日(火) 始業式・着任式は放送にて行い、入学式は簡素化し、新入生のみで実施
- 同日、安倍首相(当時)、緊急事態宣言を7都府県に発令
- 4月8日(水) 中高1年は終日、中高2・3年は午前中登校
- 4月9日(木)～10日(金) 全学年午前中登校
- 4月11日(土)～5月6日(水) 臨時休校、部活動も中止し、Zoomによる遠隔授業を開始
- 4月16日(木) 安倍首相(当時)、緊急事態宣言の対象範囲を全都道府県に拡大
- 5月7日(木)～5月31日(日) 臨時休校及び遠隔授業を継続
- 6月1日(月) 学校再開

逆風を推進力に変えて前進

- 生徒の家庭環境を調査した上で、Zoomを通じた「朝と帰りのホームルーム」を実施。
- 特別時間割を作成し、Zoomを駆使した「遠隔授業」を展開。
- Zoomでのホームルームと授業に関しては、生徒と保護者にアンケートを実施し、何ができ、何が足りなかったのかを検証し、経験値を高める。
- Google classroomで全ての生徒とクラス担任、教科担任を結びつけ、伝達事項や教材、演習問題を共有。
- 中学生を対象に、「オンライン職業講話」を新設。本年度は、中高生を対象にした企画に広がる。
- 休校前から、全ての教室にプロジェクターは設置されていたが、プロジェクターを入れ替え、全ての教室に「スクリーン」と「スピーカー」を備えた。それらの環境を駆使し、感染症対策を施しながら、3回の「一日体験入学」、2000人を集めての「高校入試説明会」を実施。
- 令和3年度は、新入生は体育館で、保護者は教室にてZoomを通して参加した「入学式」を実施。
- 令和3年度は、来校回数を減らすため、入学式のあと、オリエンテーションを実施。事前に「学校生活ガイダンス動画」を作成し、HPにて公開し、学校生活に馴染むよう支援した。

令和2年度 遠隔教育期間 基本時間割表 第5版 [2020.5.11]

学年	1学期						2学期					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
中11	英語	英語	理科				数学	社会	英語			
中12	英語	英語	理科				数学	社会	英語			
中13	英語	英語	理科				数学	社会	英語			
中21	英語	英語	理科				数学	社会	英語			
中22	英語	英語	理科				数学	社会	英語			
中23	英語	英語	理科				数学	社会	英語			
中31	英語	英語	理科				数学	社会	英語			
中32	英語	英語	理科				数学	社会	英語			
中33	英語	英語	理科				数学	社会	英語			
高1-1	英語	英語	理科	数学1A	現代社会	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語
高1-2	英語	英語	理科	数学1A	現代社会	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語
高1-3	英語	英語	理科	数学1A	現代社会	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語
高1-4	英語	英語	理科	数学1A	現代社会	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語
高1-5	英語	英語	理科	数学1A	現代社会	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語
高1-6	英語	英語	理科	数学1A	現代社会	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語
高1-7	英語	英語	理科	数学1A	現代社会	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語
高1-8	英語	英語	理科	数学1A	現代社会	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語
高1-9	英語	英語	理科	数学1A	現代社会	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語
高1-10	英語	英語	理科	数学1A	現代社会	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語
高2-1	英語	英語	理科	数学1A	現代社会	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語
高2-2	英語	英語	理科	数学1A	現代社会	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語

中1から中3の1年間の活動の記録

コロナ禍での中学校行事
5月中旬からZoomによるオンライン授業開始
授業中は常にマスク
それでも元気な中学生

中1

保護者が参加せず生徒のみの入学式。
その後、5月末まで休校。
校外に出かけることが出来なかったため、Zoomを使った職業講話を実施。
広島研修は実施(GoToトラベルも使って)、平和・戦争について学んだ。
カルタ大会が出来なかったため、代替で百人一首カルタ作りを実施。



中2

校外に出かけることが出来なかったため、教室でディベートを実施。その後、各自でその内容についてまとめ、文章化して静岡新聞に投稿。
白川郷への自然体験教室実施できず。代替でイエティでの日帰りスキー教室(県内)を実施。



中3

日本気象学会ジュニアセッション、通常は東京で発表会があるが実施できず。体育祭恒例のダンスは、中学生全員で練習する際の密を避けるために中3のみで実施。結果、非常にクオリティの高いものが完成した。修学旅行はハワイ→沖縄→三重と変更したがいずれも実施できず。代替で3月中旬に三重1泊2日の研修旅行を実施。



高1年の1年間の活動記録

沢山の経験

今年は、沢山の経験を積むことができた一年でした。新型コロナによる一斉休校の影響で、高校生活の最初の2ヶ月を失いました。そして、文化祭や遠足が中止になり、様々な経験をするチャンスを失いました。そんなとき私は、今できる限り沢山のことにチャレンジしていこうと思いました。部活のコンクールに向けて練習しつつ、気になったSGTは迷わず申し込んだり、放送局にも入局したりしました。その結果、SGTでなければあまり体験することができない和菓子作りを経験したり、放送局員としてお昼の放送や体育祭のアナウンスで沢山の人の情報伝達をするという経験ができました。そして、とても充実した一年にすることができたので、来年は、今年よりも沢山の経験を積んで、より充実した高校生活にしたいです。

11HR 吉永詩織 (静岡学園中)

夢

私は中高一貫生で中学時代はサッカー部、高校は野球部に所属している。私は高校で初めて野球を始めた。最初は苦しいことばかりだったがその中でも目標を掲げ日々部活に取り組んでいる。中学生の時は中体連優勝を目標としてやってきたが今は野球部として甲子園出場そして優勝することが目標であり夢である。私は、夢がなければその先に成功は無いと思う。中体連優勝はできなかったが、高校では甲子園に行けるよう努力していきたい。

13HR 伊藤丈士 (静岡学園中)

コロナ禍での吹奏楽部

私がこの一年間の吹奏楽部の活動で学んだことは、観客の大切さです。コロナ禍の今、沢山の大会やコンサートが中止され、開催されても関係者のみの入場等多くの制限がありました。今まで当たり前だと思っていた合奏も、ステージから見る光景も今となっては貴重だったと感じます。今後どうなるかは分からないけれど、全員で演奏できることに感謝し、いつか制限もなく人前で演奏できるようになった時、最高の演奏をお届けできるよう努力し続けます。

15HR 浅野菜々美 (清水第八中)

こんな日々だからこそ

普段はなにげないことにもありがたいと思えた一年でした。その中でも、部活動から得るものが私を大きく変えてくれました。私は陸上競技部に所属しており、練習では、競技場内だけではなく、公共の道を利用します。トレーニングをしていると、地域の方々からお声をかけていただくことが何回もあり、どれも本当に暖かくて「辛いけれど全て楽しんでしまえ」と前を向かせてくれました。部活動はあたり前にあると思っていましたが、そうではないと痛感しました。そんな貴重な時間に加えて地域の方々の温かさに触れることができて、制限の多い気詰まりな日常に自分なりの“特別”を見出すことができました。この感謝を来シーズンは形あるものとして伝えていきます。

17HR 杉山月乃 (清水第一中)

一年を通して

この一年間を通して私が大切だと感じたこと、それは新しいものを受け入れることです。今年度は環境が大きく変わったのと同時に、全国一斉休校という異例な事態も加わり、混乱することが多かったです。そのような場面でも、遠隔授業を通して自分のやるべきことをこなし、無駄にすることなく時間を有効に過ごすことができました。

高校二年生では、一年生の期間で得た知識や技能を、さらにのびしていけるように努力していきたいです。

19HR 山梨莉桜 (清水庵原中)

全国ルーキーリーグ優勝

私達高校一年生サッカー部は、U16関東・静岡リーグを無敗優勝、全国大会では全勝優勝という素晴らしい結果で幕をおろすことができました。結成当時、このチームの魅力でもある「個」が強すぎて仲違いが起きたりもしました。それでも夢に見ていた全国優勝が目標に変わり最後には結果に繋がりました。決勝のピッチ上で感じた先制点を決めた時の喜び、失点した時の焦り、それでも逆転したときの興奮、そしてベンチメンバー含め喜びながら聞いたホイッスルの音は、特別な体験となりました。私達は、これから多くの大会で優勝するために努力を続けています。コロナ禍でも開催してくれた全ての人達に感謝したいです。

12HR 谷岡拓 (静岡学園中)

日々努力すること

私は高校に入って女子バレーボール部に入りました。入った当初は疲れてしまい、家に帰って勉強せず終わる日もありましたが、朝早くにやる、電車通学時などの空いた時間や別の時間にやるなどの工夫をし、勉強との両立もすることができました。

出来ないこと、苦手なことは、先輩や仲間コツコツと聞いてもらい、教えてもらい少しずつ出来るようになりました。試合で強烈なスパイクをレシーブできた時など自分が頑張ってきたものが上手く出来た時はとても嬉しかったです。日々コツコツと努力することで、出来ないと思っていたことも出来るようになりました。

14HR 堀池楓花 (清水小島中)

一年間を振り返って

今年は例年とは違い、新型コロナウイルスの影響で入学してすぐ休校になってしまいました。私は中学が同じ人が一人もいなく、話せる人がいなかったのも不安でした。しかし休校明けの学校では、みんな話しかけてくれて、安心したのを今でも覚えています。新型コロナウイルスで思うような高校生活をスタートすることは出来ませんでした。一年六組は常に明るい雰囲気、楽しく一年を過ごすことが出来ました。一年六組で本当によかったです。

16HR 森元舞桜 (清水飯田中)

体育祭

今年は、コロナの影響でたくさんの行事がなくなってしまいました。その中でも、さまざまな工夫や配慮をする条件で、体育祭を行うことができました。午前中、限られた種目のみの開催でしたが、みんなで作戦を立てたり、世界でたったひとつのクラスTシャツを作ったりと、コロナ禍でも思い出を作りました。各種目に出られる人数が制限され、出場する人は少なくても、クラスみんなで一緒に応援し、喜び、楽しみました。この体育祭は、クラスの絆が生まれた行事になりました。

18HR 大橋佳那子 (高松中)

高2年の1年間の活動記録

「コロナ禍の中での体育祭」 29HR 二宮晴彦 (岡部中)

今年度は、Zoomでの授業、遠足や静学祭そして修学旅行の中止と、いつもの学校生活、学校行事ができませんでした。そして体育祭も開催が危ぶまれましたが、先生方のおかげで例年通りではないものの、感染症対策を考えた上での開催となりました。

私は生徒会役員として体育祭の企画・運営に関わりましたが、この体育祭を通して1つ学んだことがあります。それは「準備」の大切さです。新種目を考える時、様々な所から意見を聞き、その種目が本当に楽しいのかを考えなければみんなが納得できる種目はできませんでした。また、体育祭当日のスケジュールを時間をかけて考えても、実際は予想外の事が起こってしまい、スケジュール通りにはいきませんでした。そのためしっかりと「準備」をして予想外の事が起こっても即座に対応できるように余裕を持つことが大切だと学びました。

令和3年度こそは、「静学祭」を開催したいと考えています。コロナ禍のもと制限されたものとはなりますが、生徒会役員としての活動の集大成として仲間とともに知恵を出し合い、しっかりと準備してみんなが笑顔になる静学祭にしたいと思います。

「繋がりを大切に」 23HR 鳥光結月 (附属静岡中)

私は、生徒会ボランティア局として休校期間中に布マスクを制作して寄付する「うちっち de ボランティア」に参加することを全校に呼びかけました。任意参加での活動なので、直接のコミュニケーションがとれない中、参加してもらえるのが不安でした。しかし、結果として全校で合計162枚のマスクが集まりました。静学生の温かさを感じるとともに、会えない中でも人と繋がっていることを実感しました。

この先、いつ自分が助けてもらう側になるかわかりません。これからも人との繋がりを大切に、思いやりを持って日々を過ごしていきたいです。



「東日本大震災から10年を経て」22HR 榎原巧 (静岡学園中)

災害はいつ発生するか分かりません。私たちが生活している間にも、災害は色々な所で発生しています。私は防災SGTの活動を通じて、災害の恐ろしさを改めて実感しました。

東日本大震災による影響と南海トラフ巨大地震の脅威を再認識してもらうべく、私たち防災SGTのメンバーはプレゼンテーションという機会を設けました。その中で私たちができることの提案や宮城県石巻市をオンラインで繋ぎ、現地で活動するボランティアスタッフの方のお話を伺いました。私は「明日は必ず来るとは限らない。日頃から感謝することが大切。」というお言葉が印象に残りました。

今年、東日本大震災から10年が経過しました。それでもなお、完全に復興したとは言いきれません。現在も避難所で生活している人がいます。10年という節目の年だからこそ家族間で備蓄品の管理や災害発生時の行動手順などの再認識をして、一人ひとりが防災に対する意識を高めることが必要であると思っています。

今後30年間で、南海トラフ巨大地震が発生すると想定されています。それにより多くの被災者が出てしまうことは免れません。自分たちの大切な人を失わないようにするために、「明日は必ず来るとは限らない」ということを意識して生活することが、自分たちにできることだと思います。



「挑戦に如くは莫し (挑戦することが全てである)」 22HR 大野泰誠 (静岡学園中)

私は、昨年「日本の次世代リーダー養成塾」というサマースクールに参加しました。養成塾は、将来日本だけでなく、世界を舞台に活躍する人材を育てることを目的としており、私たち参加者は、医療や政治などの各界を代表する一流講師陣による講義を受講し、アジア各国の高校生と世界が抱える課題について議論しました。

受講した講義の中に、元国連事務次長の明石康氏によるグローバルな人材についての講義がありました。講義終了後、「私は将来、自然保護官として国内外の観光客に日本の国立公園の魅力や自然保護の重要性を伝えたいと思っています。そのためにやっておくべきことや大切なことは何ですか？」と質問しました。明石氏からは、「まず多くの海外の友人を作り、彼らと現在身の回りで起こっている様々な問題や出来事について議論すること、そして自然や環境について学び、考えることが大事です。若いうちは色々なことに積極的に取り組み、挑戦しなかった後悔をするくらいなら、チャレンジしてみて、失敗したとしても、失敗した原因を作ってしまったことを反省し、次に生かすよう努力しなさい。」という言葉をいただきました。

このアドバイスを胸に残りの高校生活を過ごすとともに、大学では海外留学や環境ボランティアなど様々な取り組みに挑戦したいと思います。

合格体験記 —後輩へのメッセージ—

合格

「在校生へ」

静岡大学工学部電子物質科学科 法月京太 (和田中)

理系教科がちょっと苦手な私は、新しい分野に入った直後の授業が理解できないことがありました。こういう時は決まって、公式を丸暗記して、たっぷり基本問題を練習してみます。それからもう一度授業を振り返ると、内容がすんなり入ってくる場合があります。

そこで大切なのは、その分野に慣れて、概念を受け入れることです。目新しい分野を理解しようとするのは容易ではないので、とりあえず知らない状態を、どんな程度であれ知っている状態にしてしまおうという作戦です。未知なものよりも既知なものの方が、成り立ちや理由を理解するのが簡単です。

一見、中身の無い作戦にも見えますが、困ったときはこれで乗り越えました。とりあえず、今「わからない」の壁にぶち当たっている人は、そのまま(基本問題でいいので)がんばり続け、ふとした時に後ろを振り返ってみてください。もしかすると、自分の努力が無駄ではなかった事に気付けるかもしれません。

合格

「在校生へ向けて」

静岡県立大学国際関係学部 中田麻結 (末広中)

私は、受験を通して次の2つのことの大切さを学びました。まず、当たり前なことをきちんと続けることです。毎日のように朝テストや提出物があって大変でしたが、これらの小さな積み重ねが、定期テストや模試で役立ちます。細かいことだからと手を抜かず、少しずつ真面目に続けてみてください。

次に、様々な勉強法を試すことです。人によって合う勉強法は違います。1,2年生の頃から、自分が継続できる方法を探しておくことで、受験生になったときに勉強の計画を立てやすくなり、やるべきことが増えても効率良く時間を使うことができます。何から始めたらいいかわからない人は、クラスの友達の勉強法や、先生方が現役時代にやっていたことを聞いて試してみることから始めたらよいと思います。

合格

「私の受験生活」

横浜市立大学国際教養学部 脇田結衣 (静岡学園中)

私の本格的な受験勉強は三年の夏という大事な時期にスロースタートを切りました。当時の私は、夢もやりたいことも明確ではなく、自分自身の目標に向かって一心不乱に努力をしている周りの友達に後れを取っている気がして、目標がない自分に嫌気がさすというどうしようもない悩みを長い間抱えていました。

そのせいか共通テストでは思うように点数が取れず、悔しい思いをしました。しかし、その悔しさが私を奮い立たせ、曖昧だった目標がその時初めて明確なものになりました。それでも勉強が上手いかず、不安で涙を流す日もありましたが、辛い時に支えてくれたのは友達や先生方でした。私が合格できたのはたくさんの方が支えてくれたからです。本当に感謝がありません。受験を経験して一番大切だと感じたことは、目標に対する熱い気持ちと感謝の心を忘れないことです。この気持ちは必ず自分を成長させてくれます。在校生のみなさんの受験を応援しています。

合格

「在校生の方々へ」

名古屋市立大学人文社会学部 長井柊策 (南中)

私は自分の受験、特に国公立受験を通して、自発的に行動し、情報収集や学習を進めていくことが受験においてとても重要であると強く実感しました。受験というのは長く厳しいものであるため、周りの人々から強制されて勉強しているモチベーション維持は難しく、集中力も長くは続かないと思います。定期テストや静学テストは特に、そのような学習になっている方も多いのではないのでしょうか。校内テストを何の思考もなくその場しのぎの勉強で点数が取れたとしても、その内容は定着しませんし、自分のためになるとは言えません。勉強の目的や意義を自分で考えることが大学受験において重要であり、その能力は日常生活や将来の仕事でもきっと活かされると思います。また、志望校や受験形態についてなるべく早くインターネット等で調べ、候補を絞り込むことも大切です。早くにそれらの事項を決定しておくことは、勉強に対するモチベーション上昇だけでなく、志望大学と自分の実力の距離を測るにも役立ちます。実際に、僕自身志望校について曖昧な時期があったため、本格的な受験勉強に取り掛かったのは三年生の夏手前ごろでした。受験勉強は早く始めるに越したことはありません。静岡学園の生徒は部活動で活躍する人が多く、そのような方々にとって部活と勉強の両立は非常に大変だと思いますが、その経験は必ず役に立つので頑張ってください。受験は皆が成功するわけではありません。だからこそ後悔の無いような選択をしてください。皆さんが満足する道に進むことを願っています！

合格

「3年間の集大成」

筑波大学医学群看護学類 原田凜花 (東豊田中)

私が大学受験を経験して最も感じたのは、受験は高校3年間の集大成だということです。私は静岡学園に入学してから生徒会、写真部、ニュージーランド研修、ボランティア活動など様々な経験をさせて頂きました。これらの活動は勉強と両立する必要があり大変なこともありましたが、全ての活動が自分の糧となったと強く感じています。実際の受験本番でも、面接や英作文で生かせる機会が多くありました。勉強面に関しても、私は3年生の受験期に力を入れた感覚はありません。もちろん勉強量は違いますが、1年、2年で学んだ一つの基礎が土台となり、共通テスト、2次試験に向けた勉強につながったと思います。受験は3年生になったから頑張るのではなく、3年間の学びを生かせる機会です。気持ちの面でも、3年間これだけのことをやってきたのだから大丈夫だという気持ちで、自信を持って挑む事ができると思います。在校生の皆さんには、ぜひ静岡学園で様々なことにチャレンジし、夢に向かって頑張ってください。応援しています！

合格

「積み重ね」

群馬大学医学部保健学科 浜田深央 (長田西中)

形だけを覚えるのではなく、その背景にあることを関連させて理解することを学んだのは、茶道部の活動を通してでした。公式だけ覚えていると忘れてしまった時に手も足も出なくなってしまうのですが、そういう問題も現象を理解していればそこから答えを導き出せます。自分の言葉で説明できるようになると、より理解が深まると思います。

1年生の時に先生が、入試も定期テストも朝テストもどれも毎日重要でそれらはイコールの関係だと教えて下さいました。毎日のテストにある程度の緊張感をもって取り組むことは重要だと思います。それを継続することが自分の力になります。また、入試本番でどう気持ちを保つかも大切だと思います。模試を入試と同じように取り組み、緊張する中でも力を出し切ること。その経験は本番で自分の糧になると思います。先生方のアドバイスを色々試しながら普段からコツコツと積み重ねて、自分の目標に向かっていって下さい。

データで見る大学合格実績

2021年度入試結果

国公立大学

合格 96人

私大難関14大+医学科

合格 134人

国公立大学

北海道大・東北大・名古屋大・大阪大・神戸大・浜松医科大学医学科 静岡大 16名・静岡県立大学 8名など、計 96名合格、内 88名が現役生

新入試初年度、センター試験が共通テストにかわり、求められる学力も変化。さらには、新型コロナウイルスの影響での休校や入試の変更があった中で、生徒たちは努力を重ね夢を叶えました。

2021年度入試結果報告(現役生+既卒計)

2021年4月9日判明分

Table with columns for university categories (国公立大学合格, 難関14大+医学科, 私立大学合格総計) and lists of universities with their respective counts. Includes sub-sections for 短大合格, 専門学校合格, 就職, and 海外留学.

部活動実績(令和2年度)

静岡学園では現在、運動部、文化部あわせて32の部が活動中。それぞれが各種の大会に出場し、全国にその名が知られています。



柔道部顧問 渡部直樹

*全国大会の結果報告とお礼
令和3年3月20日日本武道館にて全国高校柔道選手権大会が開催され、本校より81kg級で出場した長澤篤希(2年、現3年)が全国優勝を成し遂げました。

コロナ禍で大会の開催すら危ぶまれる状況でしたが、優勝を目標に練習を積み重ね、達成することができました。どの対戦相手もレベルが高く、苦しい戦いでしたが、この経験を通して、長澤も周囲からの指導や応援に対する感謝の思いを改めて確認し、心身ともに成長することができたかと思えます。私自身も優勝の瞬間を目の当たりにして大変喜ばしく、感動を覚えました。コロナ禍であるからこそ、長澤の優勝が、静岡学園の皆に、苦難を乗り越える希望と勇気を与えてくれたと思えます。また、最終目標である全国総体優勝に向けて、今後さらに自分の取り組んできたことに磨きをかけてくれるだろうことを強く信じています。

この度の全国大会出場に際し、学校関係者、柔道部関係者の皆様方には大変お世話になりました。今後とも更なるご指導とご声援をお願い申し上げます。ご報告とさせていただきます。ありがとうございました。



第43回 全国高校柔道選手権大会 全国優勝 81kg級 長澤篤希さん

令和3年3月20日に東京の日本武道館で開催された全国高等学校柔道選手権大会に出場し優勝することができました。中学生の時には全国大会で勝ち切れず3位という結果で終わってしまいました。その悔しさをバネに全国優勝を目指して練習を重ねてきました。ですが昨年、いままで一緒に練習していた先輩方の試合がコロナウイルスの影響で全てなくなってしまい、いままで練習してきた成果を発揮することができずに悔しい思いをしたまま引退となってしまいましたので、その先輩方の思いを背負って戦おうという気持ちで大会に臨みました。この結果は自分の力だけではなく、日々共に努力してきた仲間や支えてくれた家族、先生方のおかげで勝ち取ったものだと思います。またこの状況の中、大会を開催に尽力してくださった関係者の皆様すべてに感謝したいと思います。インターハイも仲間と共に全国優勝を目指して頑張りますので応援よろしくお願いします。

第48回 全国高等学校 選抜卓球大会 団体戦男子 5位



主将 鈴木笙

今回の全国選抜はこれまでで一番悔しい結果と感じました。なぜならチーム全員で優勝を目指しやってきており、去年コロナの影響で試合ができなかった3年生に優勝をすることで恩返しをしたいと思っていましたので。キャプテンとして、今大会はベスト4をかけて敗れたのですが、チーム力、団結力は他のチームよりも高いと感じました。自分がこのチームのキャプテンをさせていただいていることに喜びを感じながら、夏のインターハイでは必ず優勝したいと強く思いました。

顧問 寺島大祐

コロナ禍で様々な制限がある中、新しいチャレンジをしながら積み重ねてきたことが結果し、全日本選手権では、前年度全日本王者を破る殊勲を挙げたり、高校No.1の愛工大名電に次ぐ成績を出せたりしてきました。

その中で優勝目指して臨んだ全国選抜では、ベスト4の壁を破れずに敗戦し、非常に悔しい大会となりました。チームとして見つかった課題をしっかりと分析し、これからのチームづくりに生かしていきたいと思えます。

個人戦と団体戦の違いを改めて感じ、必要なことをチームで共有すべきですし、より長い伝統が求められます。

静岡学園卓球部の挑戦は始まったばかりで、まだまだ発展途上です。更なる飛躍を目指してチーム一丸となって取り組んでいきます。

スポーツの部	文化・芸術の部
【野球部】 2020夏季静岡県高等学校野球大会／1回戦 第73回秋季東海地区高校野球中部地区大会／1回戦 第17回静岡市高等学校野球大会／4位 【サッカー部】 2020年度 静岡県高等学校新人大会 サッカー競技 県大会 優勝 2020年度 全国高等学校サッカー選手権大会 静岡県大会 ベスト4 【陸上競技部】 第73回静岡県高等学校陸上競技対校選手権大会 女子400mハードル1位 鍋田妃里 全国高等学校陸上競技大会2020出場 第73回静岡県高等学校陸上競技対校選手権大会 女子5000m競歩3位 松浦佑実 第53回静岡県高等学校新人陸上競技対校選手権大会に10種目7名が出場 【柔道部】 静岡県新人柔道大会 団体戦2位 静岡県新人柔道大会 個人戦 66kg 2位 辻本龍基 73kg優勝 村上大心 81kg優勝 長澤 篤希 全国高校柔道選手権大会 81kg優勝 長澤 篤希 【ハンドボール部】 静岡県高等学校ハンドボール選手権大会 ベスト8	【女子バレーボール部】 高校総体女子バレー静岡予選・出場 静岡県高校女子バレー中部トレセン選抜・大島実千夏 静岡県中部予選大会・出場 【体操部】 静岡県高体連体操競技新人大会 団体 準優勝 同 個人総合 4位 藪内那由他 同 種目別 ゆか 3位 跳馬 3位 【女子テニス部】 静岡県私立高校テニス大会 第3位(東海大会出場) 第6回東海私立高校テニス大会 第5位 新人戦ダブルス中部大会 石田琴・関澤組 21位(県大会出場) 【卓球部】 全国高等学校選抜卓球大会 男子団体5位 女子ベスト16 全国高等学校選抜卓球大会東海選考会 優勝(団体戦) 全日本卓球選手権大会 一般男子ベスト32 鈴木 笙 男子ジュニア ベスト16 鈴木 笙・葛西 啓功 ベスト32 板坂 眞生 静岡県高等学校新人卓球大会 男子学校対抗の部 優勝 女子学校対抗の部 7位 【男子バスケットボール部】 第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会 静岡県予選 第3位 静岡県高等学校バスケットボール新人大会県大会 ベスト8 静岡県高等学校バスケットボール新人大会 中部地区予選 準優勝
【吹奏楽部】 令和2年度 中部日本個人重奏コンテスト 静岡県大会・金賞(本大会進出)・打楽器四重奏 令和2年度 中部日本個人重奏コンテスト静岡県大会・金賞・金管八重奏 第23回ジュニア管打楽器コンクール・全国大会出場・ 木管四重奏および打楽器四重奏 打楽器アンサンブル・全国銀賞(第2位)	【写真部】 第38回静岡県高等学校写真コンクール 団体部門 優秀学校賞(県3位) 第38回静岡県高等学校写真コンクール 個人部門 奨励賞 南麻帆 第38回静岡県高等学校写真コンクール 個人部門 奨励賞 岩倉采袖 【歴史研究部】 令和二年度全国高等学校郷土研究発表大会(歴史・考古部門)・優秀賞・団体 令和二年度全国高等学校郷土研究発表大会(ボスター部門)・優秀賞・団体 鳥井龍蔵生誕150周年記念全国高等学校 歴史文化フォーラム2020in徳島・入賞・団体
【合唱部】 令和2年度高校生コーラスフェスタ・合唱専門部 会長賞(第三位) 令和2年度静岡県ヴォーカルアンサンブルコンテスト・銀賞	【書道部】 第66回静岡県高等学校書作展 中部書道専門部会長賞 海野友莉愛(高2)、 奨励賞 植松乃菜(高2)、岡村美優(高2)、三田穂海(高2)、下道はるひ(高2)、 釜石菜那(高2)、岡田葵衣(高2)、石田茉綾(高2)、大川恋波(高2) 岐阜女子大学第19回全国書道展 特賞 釜石菜那(高2)、優秀賞 田中美悠(中2)、岩田美海(中2) 9.21第4回世界平和の祈り 奉納揮毫で高校生の書道部員6名が揮毫。

同窓会より

1、同窓会名簿の作成について

本件につきましては、ご協力頂きまして誠にありがとうございました。
5年に1度を目処に編集させて頂く予定であります。
その折は、名簿業者を通じご案内を差し上げますので、引き続きご協力のほど、
どうぞよろしくお願いいたします。

2、同窓会入会式にて 入会に当たり贈る言葉

令和3年3月5日、卒業式前日に、同窓会入会式を行いました。
式のなかで、同窓会を代表して、挨拶をさせていただきましたので、以下に掲載させていただきます。

卒業生の皆さん、高校卒業、おめでとうございます。
卒業と同時に同窓会に入会されることを嬉しく思います。
私は同窓会副会長を務める青木です。以後、宜しく願い致します。

静岡学園同窓会とは何かということから説明致します。

私自身、静岡学園を卒業して20年以上の時間が過ぎておりますが、この20年間、同窓会らしい活動は印象に残っておりませんでした。正直なところ、その存在自体を忘れていたというのが正直なところです。しかし、2020年正月のサッカー部の全国優勝を契機に、同窓会活動の活性化についての機運が高まり、リニューアルされた次第です。

卒業生の皆さんの中には4月からの大学進学を控えた方もいらっしゃるでしょうし、社会に出られる方もいらっしゃるでしょう。また自分を見つめ直す時間を迎える方もいらっしゃるかも知れません。いずれにしても何年か後に社会に出る皆さんの一助となる存在が同窓会です。

皆さんにとって静岡学園での高校生活は概ね楽しいものだったと思います。人は楽しいことにはおカネを払うのです。皆さんにはそれぞれ趣味や好きなことがあると思います。趣味や好きなことにはおカネを払いますよね。それと同じです。

ところが社会に出ると、皆さんは仕事の対価としておカネをもらい、そのおカネで生活する様になるのです。社会や仕事の上で、楽しさ、好き嫌いを追求して生活できれば一番良いのですが、ご自身やご家族の生活のために、おカネを得るために仕事をするという考え方は一面的には正しいと思います。きっと、苦しいこと、悲しいこと、辛いこともあるでしょう。従来からの友人には相談できないこともあると思います。そんなときに皆さんをサポートするのが同窓会です。静岡学園の同窓生は2万人以上。いろいろな会社やお店、ご商売をなさっています。年齢層も広く、男女を問わず多くの先輩方が先に社会に出ていらっしゃいます。皆さんが同窓会に参加し、先輩方と交流を深めることで、困ったとき、相談事があるときに、年齢、性別、社会的な背景を超えてアドバイスをくれたり、周囲へ働き掛けをしてくれるのが、同窓会での人脈です。

これからの同窓会活動が皆さんにとって有益なものとなる様、同窓会としても一生懸命に取り組んでいきますので、皆さんも同窓会活動には積極的に参加して下さいをお願いして同窓会入会式の言葉とさせていただきます。今後、お困りのことがあれば遠慮なく同窓会までご連絡頂けると幸いです。宜しくお願い致します。

静岡学園中学校・高等学校 同窓会 副会長 青木 紀之

3、同窓会役員の変更について

令和2年度、同窓会役員が改選されました。

会長	橋本泰志	第23期(昭和63年度)卒業生
副会長	山崎朝彦	第30期(平成7年度)
	青木紀之	第29期(平成6年度)
	古藤田訓昭	第34期(平成11年度)
会計	齋田洋美	第18期(昭和58年度)
書記	八木香澄	第33期(平成10年度)
監事	大橋重之	第29期(平成6年度)
	古川賢吾	第27期(平成4年度)
名誉会長	鈴木啓之	静岡学園中学校・高等学校／校長